



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT

NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第2126回



2025 年 3 月 24 日

◆ゲスト紹介

ひなぎく保育園 園長 松下 烈 様

◆会務報告

1. 国際ロータリー第 2730 地区 2025-26 年度の
ための地区研修・協議会開催のご案内
日時：2025 年 5 月 18 日(日)10：00～
場所：野口遵記念館
2. 第 10 期 RLI2730 パートⅢのご案内
日時：2025 年 4 月 27 日(日)9：15～16：00
場所：鹿児島大学農学部
3. 地区補助金審査会の決定通知
4. 「インターアクト韓国第 3661 地区国際交流
訪問」の報告書(USB) 送付
5. 「エアーメモリアル in かのや 2025」歓迎レセ
プションについて(御案内)
日時：令和 7 年 4 月 26 日(土)19：00 開会
場所：リナシティかのや イベント広場
6. 2025-26 年度地区役員ご就任のお願い
7. 文庫通信のご案内
8. 春の全国交通安全運動及び鹿屋市地域安全運
動出発式への出席について(依頼)
日時：令和 7 年 4 月 4 日(金)午後 15 時～
場所：イオンかのやショッピングセンター駐車場
9. 広報紙「せつとべ 150 号」について
10. 賛助会ご入会のご願い(米山梅吉記念館)
11. 例会開催曜日変更に関するお知らせ(きもつき RC)
令和 7 年 7 月より 第 1 週・第 3 週の水曜日
12. 週報 …………… 串良・きもつき・南九州大崎
志布志・志布志みなと RC
13. 4 月例会変更のお知らせ
〔鹿屋 RC〕 2 日(水)観桜会の為 18：30～

16 日(水)海岸清掃(ロータリー奉仕デー)

⇒12 日(土)10：00 荒平天神前駐車場

30 日(水)特別休会

〔かのや東 RC〕 17 日(木)創立 40 周年記念へ変更
⇒12 日(土)例会 13：00～

〔南九州大崎 RC〕 10 日(木)⇒6 日(日)例会 8：00
ソフトボール大会(大崎町大丸グランド)

〔志布志 RC〕 1 日(火)観桜会 19：00～

志布志湾大黒リゾートホテル

15 日(火)⇒13 日(日)通山海岸 9：00～11：00

ロータリー奉仕デー 志布志みなと RC 合同

〔志布志みなと RC〕 2 日(水)観桜会の為

例会 19：00～大浜緑地公園

懇親会 19：30～居酒屋もみじ

9 日(水) 休会

16 日(水)⇒13 日(日)通山海岸 9：00～11：00

ロータリー奉仕デー 志布志 RC 合同

23 日(水)香月地区公民館 19：30～スポーツ例会

30 日(水)⇒29 日(火)ボランティア募金活動 10：00～

お釈迦祭り会場



会長の時間

会長 鶴丸秀治さん

皆さん、こんにちは。

本日は松下さんがお試しで例会
にご参加いただいておりますの
で、会長の時間で私ども鹿屋西ロ
ータリークラブとはどんな団体か？という説明を
しようと思っておりました。しかし、今後あと 3 名
の方のお試し参加が控えておりますので、今後同じ
ような卓話を繰り返すよりもパンフレットを準備
するべきだと考え作成しました。

次回プログラム		
4 月 06 日(月)		
プログラム： 観桜会 13：00～		
場 所： 霧島ヶ丘公園		
担当委員会： 親睦委員会		
出席報告	会 員 数	(38)41 名
	出 席 数	30 名
	出 席 率	78.95 %

メイクアップ情報		
鹿 屋	04月02日	(水)ホテルこはやし 観桜会 18：30～
かのや東	04月03日	(木)かのやグランドホテル
串 良	03月31日	(月)セントロランド 道の駅 第1週：例会無し
志 布 志	04月01日	(火)観桜会 19：00～ 志布志湾大黒リゾートホテル
きもつき	04月03日	(木)高山温泉ドーム 第1週：例会無し
南九州大崎	04月03日	(木)セントロランド 第1週：例会無し
志布志みなと	04月02日	(水)大浜緑地公園 観桜会 例会 19：00

鹿屋西ロータリークラブ	
会 長：	鶴丸 秀治
副会長：	王谷 英仁
幹 事：	假屋 博行
例会日 月曜日 12:30～13:30	
例会場	ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局	〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
	ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail	kanoya24@po5.synapse.ne.jp



各テーブルにカラーで 1 枚ずつ置いてありますのでご確認ください。取り急ぎ自分のパソコンで作成したため、私の関係者が多く写真に掲載されていることをどうぞご容赦下さい。

私がこのクラブに誘われたとき何の団体なのか？ どのような活動をされているのか？ どのような方が会員なのか？ さっぱりわからないまま入会しましたので、このパンフレットが鹿屋西ロータリークラブの理解に少しでもお役に立てたらありがたいと思います。

そして、本日はいつもの倍の時間をいただきました。と言いますのも私ども家族が全国放送されたからです。それは朝日放送という関西のテレビ局の「探偵ナイトスクープ」と言う番組です。収録は私の野方の実家でまだ寒い 2 月 10 日に行われました。関西地方では 3 月 14 日の夜中に放送されましたが、それまではネタバレ禁止と言われていたため大っぴらにお話することができませんでした。

鹿児島での放送は 2 ヶ月ぐらい遅れるとのことで、もしわかったらご報告させていただきます。Tver というインターネットの見逃し配信で見ることができましたが、現在は 3 月 21 日放送の番組に変わっており私たちの回は見ることはできませんので、どうぞゆっくりご覧いただきたいと思います。それではどうぞ。



3 分間スピーチ

梅北 健一 さん

皆様、お疲れ様です。
前年度、幹事が終わり最近付き合い悪いと原田さんに言われておりますが決してそのような事はございません。



久しぶりの登壇で緊張しておりますが、3 分間スピーチをさせていただきます。

今回は私の職種である保険業の自動車事故の現状についてお話させていただきたいと思います。交通事故の原因には、安全不確認や脇見運転・動静不注意（周囲の車や歩行者の存在や動きにきいていながら、危険はないと判断し注視を怠ること）・漫然運転（ぼんやりしたり何か他のことを考えて危険を見落としてしまう状態）のことが挙げられます。いずれも安全運転義務違反の区分に含まれ、運転者の安全意識が事故発生と大きく関係しています。

2024 年の全国交通事故発生状況は（2025 年 1 月の警察庁交通局発表）によると、交通事故死者数は 2 年ぶりに減少に転じたようです。

その数は 2,663 人で対前年比 15 人減少となりました。交通事故死者数を都道府県別にみると、2 年連続 1 位だった大阪府が 4 位（127 人）となり、3 年連続 3 位だった東京が 1 位（146 人）となり 2 位が愛知県で（141 人）、3 位が私の生まれ故郷の千葉県で（131 人）という結果でした。

2023 年に交通事故死者数が 8 年ぶりに増加した背景は、新型コロナウイルスが 5 類に移行したことによって社会活動が活発化したからだと考えられていますが、2024 年に再び減少に転じたことは、社会活動の活発化も平常に戻り、以前からの減少傾向に戻ったと考えられています。但し、減少人数がわずか 15 人に留まったことは、高齢者の交通事故死者数が増加したことが理由の 1 つと考えられます。高齢者の（65 歳以上）の死者数は対前年比 47 人増加で計 1,513 人、65 歳以下だと 1,150 人と高齢者比率は 56.8% とさらに高い水準となっているようです。

一方交通事故発生件数は 2004 年の 952,720 件をピークに 2024 年は再び減少に転じ 290,792 件となりました。{ 皆さん、交通事故は減少しているのに何で自動車保険料は高くなるのと言いたい方もいると思いますがその質問はお控えください！ }

しかし、まだまだ年間 30 万件の交通事故が発生しており、1 日あたり 797 件の交通事故が発生しており 1 時間あたりにすれば 33 件で約 2 分に 1 件の交通事故が発生していることになります。

今、一人ひとりが安全運転を超える { 安心運転 } に取り組み、交通事故を起こさないための心構えを持つことが求められています。

皆さんも家族旅行や仕事で運転をされる機会も多いと思いますので、くれぐれも安心運転に心がけてください。これで 3 分間スピーチを終わります。ご清聴、ありがとうございました。



会員卓話

深水 嘉寿さん

米山梅吉

米山梅吉（1868－1946）

は、日本の政治家、実業家、社会活動家で、特に国際奉仕団体「ロータリークラブ」の日本での設立者として知られています。東京・芝田村町でアメリカ留学を経て、帰国後にさまざま事業をてがけ成功を収めました。

彼は社会貢献に強い関心を持ち、1920 年に東京で日本初のロータリークラブを設立し、社会奉仕活動を推進しました。ロータリークラブ「超我の

奉仕」を理念とし、彼の活動は日本国内外で高く評価されました。

来歴

1868 年（明治元年）東京・芝田村町で生まれる。農家の子として誕生し、厳しい生活環境の中で育ちました。

1887 年（明治 20 年）アメリカへ留学。シカゴのマーシャル・フィールド商会で働きながら、アメリカのビジネスや社会制度を学びました。この経験が彼の後の人生に大きな影響を与えます。

1894 年（明治 27 年）日本に帰国後、さまざまな実業活動を展開し、財界で成功を収めます。特に金融業や貿易業での成功が際立っています。

1920 年（大正 9 年）日本初の「東京ロータリークラブ」を設立。ロータリークラブはアメリカ発祥の国際奉仕団体で米山はこの理念に共鳴し、日本の普及に努めました。東京ロータリークラブは、アジア初ロータリークラブでもあります。

1946 年（昭和 21 年）78 歳で死去。彼の死後も、ロータリークラブの理念は日本全国に広がり社会貢献活動において重要な役割を果たしました。

人物

1. 社会貢献の先駆者

米山梅吉は、ロータリークラブ「超我の奉仕」(SERVICE ABOVE SEIF) という理念に共感し、社会奉仕活動を生涯の中心に据えました。特に、貧困層の支援や教育の普及に力を注ぎました。

2. 国際的視野

彼の留学経験により、国際的な視野が生まれ、日本と海外の架け橋となる役割を果たしました。特にアメリカ文化やビジネスモデルを日本に紹介することに尽力しました。

3. 実業家としての成功

実業家としても有能で、銀行業や貿易で成功し、財を成しました。これにより、社会活動においても大きな財政的支援が可能となり、ロータリークラブの活動基盤を固めました。

4. 教育への情熱

教育を重視し、米山奨学会などの設立を通じて多くの若者に奨学金提供しました。特に、貧困や困難な状況にある学生たちが教育を受けられるよう支援することに熱心でした。

米山梅吉の人生は、ビジネスと社会貢献を通じて日本社会に大きな影響を与えました。

彼の理念や活動は、現代に至るまで引き継がれて

おり、ロータリークラブを通じた社会奉仕伝統は今も続いています。

米山梅吉は、日本でのロータリークラブの設立者として、奉仕活動に生涯を捧げた人物です。

彼の奉仕活動は、多岐にわたり、社会的弱者の支援や教育の推進を中心に行われました。

彼の主な活動について説明します。

1. ロータリークラブの設立と普及

米山梅吉の奉仕活動の中で最も重要なのは、ロータリークラブの日本での設立です。

ロータリークラブ 1905 年にアメリカのシカゴで発足した国際的な奉仕団体で「超我の奉仕

(SERVICE ABOVE SEIF)」を理念としています。米山はアメリカ留学中にこの理念に触れ、帰国後その考えを日本に広めたいと考えました。

1920 年に、彼は日本初「東京ロータリークラブ」を設立しました。このクラブはアジアで最初のロータリークラブであり、米山は日本国内にこの奉仕の精神を広げようと尽力しました。

東京ロータリークラブを設立したのは、社会貢献を通じて地域社会を豊かにすると言う理想を持っていたためです。

2. 奨学金制度の創設

米山は特に教育分野での支援に協力を注いでおり、貧困や困難な環境にある学生への奨学金提供に情熱を持っていました。彼の理念を体現するために、米山奨学制度が設立されました。

この制度は、経済的な理由で教育を受ける事が困難な学生を支援する事を目的としており、彼の死後もこの活動は続けられています。

米山奨学金は・・・「米山記念奨学会」・・・として後に発展し、特に海外からの留学生を対象に奨学金を提供しています。これは、国際的な視点を持つリーダーを育てることを目的としており、米山国際的な視野を反映しています。

3. 社会的弱者への支援

米山梅吉は、貧困層や社会的弱者の支援にも積極的に関与しました。ロータリークラブの活動を通じて、孤児や病気の人々、経済的困窮している家族への支援を行い、彼自身の財産や時間を惜しみなく提供しました。

ロータリークラブの活動の一環として、地域社会での慈善事業やボランティア活動が展開され、特に震災や災害時の支援にも積極的に取り組んでいました。

4. 国際交流と平和推進活動

米山は国際的な視野を持ち、日本と他国の間での相互理解と平和推進を重視しました。

ロータリークラブは国際的な組織であり、各国のメンバーと協力し合い、文化的交流を促進しながら、国境を越えた奉仕活動を展開しています。

米山はこのような国際交流を通じて、日本と世界の架け橋となるような活動を行い、戦争を防ぎ平和を実現するための取り組みを支援しました。特に教育文化の分野での交流を重視し、未来の世代が国際的な視野を持つことができるよう、奨学制度や教育プログラムを通じた活動を推進しました。

米山梅吉の奉仕活動は、社会貢献することを中心に据えたものであり、彼の人生は他者のために尽くすことに捧げられていました。彼の遺産は、今もなおロータリークラブを通じて受け継がれており、多くの人々に影響を与え続けています。

米山奨学金は、ロータリークラブの理念に基づいて設立された、海外からの留学生を支援するための奨学金制度です。米山梅吉の社会貢献と教育支援の精神を受け継ぎ、特に経済な理由で学業継続が困難な学生を対象としています。

米山奨学金の背景

米山梅吉は、国際交流と教育支援に強い関心を持っていました。彼の死後、その志を継ぐ形で1967年に「ロータリー米山記念奨学金」が設立されました。この奨学金制度は、日本国内で学ぶ外国人留学生を対象とし、彼らの生活と学業を支えることで、国際的な視野を持つリーダーの育成を目指しています。

米山奨学金の目的

米山奨学金の主な目的は以下の通りです。

1. 経済支援

経済的な理由で日本での学業を続けることが困難な留学生に対し、奨学金を提供し、安心して学業に専念できる環境を整えます。

2. 国際交流の促進

留学生と日本の地域社会との交流を深め、相互理解を促進します。奨学生はロータリークラブの活動にも参加し、地域社会と積極的に関わりを持つことで、国際的視野を広げていきます。

3. 世界平和と友好の促進

奨学生が帰国後、自国と日本の架け橋となることを期待し、世界平和と友好関係の促進に寄与することを目指しています。

特徴と活動

1. 奨学金の支給

毎年、多くの留学生が選ばれ、学業支援金が提供されます。この奨学返還義務がないため、学生たちは経済的負担を感じることなく学業に専念できます。

2. ロータリークラブとの関わり

奨学生はロータリークラブの例会や社会奉仕活動に参加する機会があり、日本の社会に積極的に関わることが奨励されています。

これにより、留学生と地域の日本人との相互理解が深まり、文化交流が進みます。

3. 卒業後のネットワーク

卒業生（米山学友）は帰国後もロータリークラブのネットワークを通じてつながり、母国と日本の関係を深める役割を果たしています。

これにより、国際的な友好関係が維持され、卒業生同士のネットワークも強化されています。

米山奨学金の影響

米山奨学金は、ロータリークラブの精神を引き継ぎ、これまでに多くの留学生を支援してきました。奨学生たちは学業を通じて自国の発展に貢献し、日本との友好関係を築くため重要な役割を果たしています。奨学金を受けた留学生は、学業の成功だけではなく、文化や知識の交流を通じて社会全体に大きな影響を与え続けています。

この奨学金制度は、日本における外国人留学生支援の一環として、今後も重要な役割を担い続けると考えられます。



◆スマイル報告

〈 3 件 〉

○烈君、西ロータリークラブの雰囲気いかがだったでしょうか。もし良ければ入会をお願いいたします。

..... 深水

○一年間という短い間ではございましたが、ありがとうございました。鹿屋西ロータリーのますますのご発展をお祈り申し上げます。..... 野添

○いよいよ桜開花宣言が聞かれはじめました。昨日、観桜会の会場へ行ってみました。2週間後の本番で満開になると確信しました。楽しい時間になりますように。..... 一村

○本日の米山BOX スマイルは3,707円です。

本日計 25,000円 累計(一般) 228,000円

(財団) 133,391円 (米山) 169,158円

***** ありがとうございました *****

週報担当：西ノ原